

地域風景資産の名称：

古道・滝坂道

住所： 世田谷区豪徳寺一丁目・宮坂二丁目（下図）

位置図：



地域風景資産の特徴：

滝坂道は江戸時代に甲州街道が開設される以前、江戸と府中を結ぶ街道であった。地域風景資産となっている部分は世田谷城趾北側あたりで、城下町を通り抜ける街道が持つ特徴的な雁行の線形を残している。



地域風景資産の背景等：

滝坂道は、江戸時代初期に甲州街道が開設される以前、江戸と府中を結ぶ道であった。世田谷城趾の北側にあたる豪徳寺一丁目部分は、城下町を通り抜ける雁行の線形が古道の特徴を現し、途中にお地蔵さんがあるなど昔の面影を偲ぶことができる。現在は交通量も多く、この道が古道であるという認識は少ないと思われるが、これをPRしていくことによって地域の共感・共有を高めながら進める風景づくりが期待される。

備考：